

たかお治久^{はる ひさ} 後援会 会報 NO.12

■発行日/平成25年10月 ■編集発行/鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所/カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員のたかお治久です。

ご多用とは思いますが、このページだけでもお読みください。

宜しく願い致します。

1. 私の伝えたいこと

日本は少子高齢化の真っ只中、高砂市は最大の課題である治水対策に“有限な”財政の多くを投入する予定です。

財政は大丈夫なのか？数字で示すべき！



2. 高砂市の変化（条例、補正予算等）

- ・防犯カメラ設置補助17箇所・市民税/固定資産税コンビニ納付可能化
- ・斎場外壁改修・ごみ処理広域化（H34）交通量調査・図書館建設（H28）
- ・米田多目的広場整備 等々。

また、市内8箇所にある公民館図書室が平日はほぼ毎日21時頃迄利用可能になりました。仕事帰り、ご自宅でゆっくり本の読めない方など是非有効にご活用下さい。



3. トピック（特記）

公務員の定年後無年金期間雇用について、**年収370～400万円、これって妥当ですか？**

⇒私は“検証不十分”を理由に**反対を表明しました。**

～所感～

人口減少社会に生きる私達、負担が増えても恩恵の受けにくい時代。より将来を見据えた慎重な税金の使い道を模索することが重要であり、その為には**財政の見える化が必要です。**

詳細は次ページ以降に

1.私の伝えたいこと(9月定例議会での質疑)

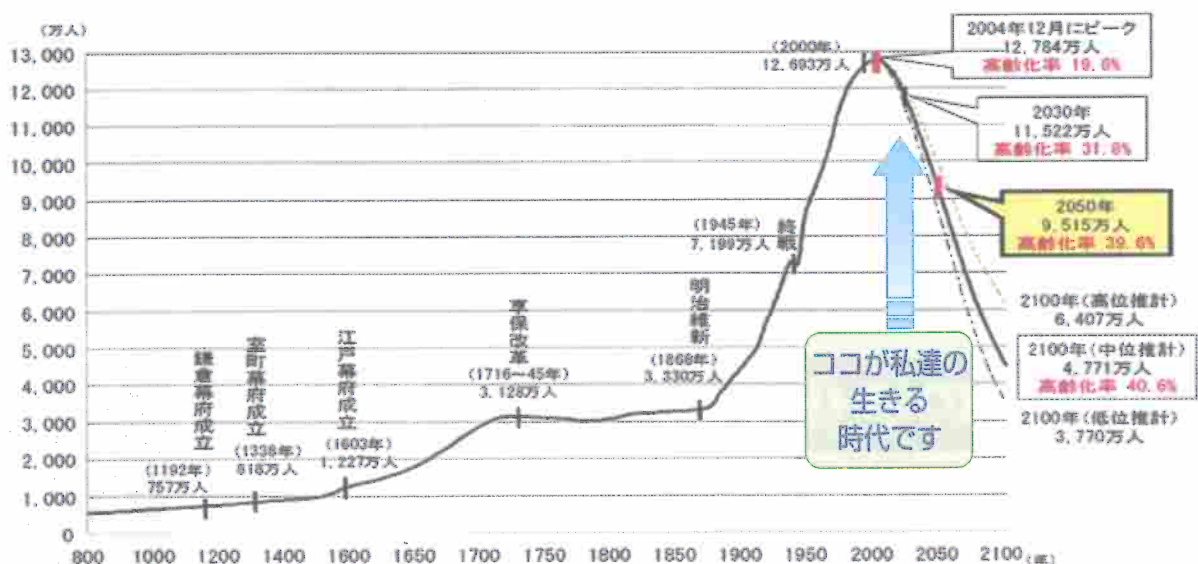
たかお治久の質問 ▶ 下図の通り日本の人口は2004年をピークに急激な下降線を辿ります。即ち、従来の「拡大を続ける」という発想、期待、施策からの大転換が必要であると考えます。

決して希望がないという意味ではありませんが、歴史の分岐点に立つ今、高砂市がやろうとしている治水対策(総額278億円、市負担139億円+ α)や他の主要政策を実現した際、市の中長期財政見通し(10年~20年先)はどうなるのか?概算でも良いので数字で示してほしい。

市長の答弁 ▶ 変動要因が多すぎる為、示せない。

【図 I - 1】我が国の人口は長期的には急減する局面に

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく。この変化は千年単位でも見ても類を見ない、極めて急激な減少。



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成19年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成



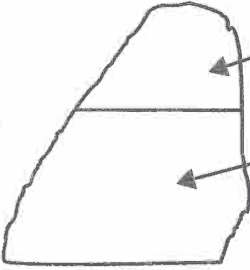
~解説~ 現在の高砂市にとって、①財政的負担の特に大きな課題や②既の実施決定の事業、③要望の強い未実施テーマ等を私なりに下表に整理しました。表中、費用の上段は事業費全額、下段()内は高砂市の負担分です。適切な時期に実現できるかが重要です。

(単位:億円)

財政的負担の特に大きな課題		既の実施が決定している事業(完成時期)		要望の強い未実施テーマ	
① 治水対策	278 (139+ α)	① ユーアイ福祉交流センター(H26)	7 (3.5)	① 中学校給食	10 (*)
② 土地開発公社 解散借金(元本)	62 (62)	② 図書館(H28)	10 (10)	② 小中学校の 空調設備	10 (7)
③ 公共施設 老朽化対策	不明	④ 広域ごみ処理施設(H34)	220 (未定)		

(*) 中学校給食は実施方式(未確定)により高砂市負担割合も様々。

2.高砂市の変化（条例制定や補正予算等）

条例関係【主なもの】	内容解説
高砂市職員の再任用に関する条例	職員（公務員）の60歳定年後の無年金期間を補填する制度です。概ね年収370～400万円。金額を含め様々な未検証事項があり私は反対しましたが、最終的には可決されました。
補正予算関係【主なもの】	内容解説
防犯カメラ設置補助事業 (136万円)	市内17箇所〔牛谷団地(2)タクマ(2)竜山県住(1)高砂町清水町(1)神爪(11)〕が兵庫県防犯カメラ設置補助事業の審査を受け補助対象として選定され、市から8万円の補助(県も8万円)を受けます。 
コンビニ収納システム事業 (320万円)	今年度からコンビニでの納付が可能となった軽自動車税に続き、来年度からは市民税、固定資産税も納付が可能となります。
斎場の外壁修理 (15百万円)	昭和58年建築から約30年、外壁や屋根の老朽化が顕在化。今回は外壁タイルの改修工事を行います。
ごみ処理広域化対策事業としての交通量調査 (約5百万円:2市2町で負担)	平成34年度稼働予定の2市2町(加古川、稲美、播磨と高砂)合同のごみ処理場建設が決まっていることを受け、収集車通行ルート等検討の基礎資料として調査を行います。
米田多目的広場整備事業 (65百万円) 	平成28年度の図書館完成に向け隣接する広場の整備を行います。図書館は従来の広場の北部分を活用します。 北 ↑ 南  図書館用地として活用(6千㎡) 広場として残す(12千㎡) 駐車場(24台)、駐輪場(20台) 屋外トイレ、東屋(休憩所) 子どもの遊ぶスペース等 設置 工事着工は平成25年末頃を予定。広場面積が2/3になりますので、今まで以上に譲り合って使う必要があります。土ぼこり対策、地球温暖化防止、図書館周辺整備目的で芝生化を提案中です。

9月が高砂市議会年1回の役職、所属委員会の改選期にあたり、今年度は【建設環境経済常任委員会】(他には総務、文教厚生常任委員会がある)【広域ごみ処理施設対策特別委員会】【議会だより編集委員会】に所属することになりました。



ブログ「たかお治久の活動報告」
に日々の出来事を掲載させて頂いております。
宜しくお願い致します。



3.トピック(特記)～公務員の定年後無年金期間の処遇～

今回の9月定例議会には、地方公務員(高砂市役所職員)の定年後の無年金期間を補填する雇用延長的な意味合いでの「再任用制度」という仕組みの導入が議案として出されました。

無年金期間の年収は370～400万円、世間相場と比較しても妥当なの？

運用ルールも定まっていないの？

採用・要員計画はこれから作成するの？

私の意見

＜反対理由＞
全ての人に生活があり、老後の人生設計を築くことは大切。制度の必要性は認めますが、給料水準や要員計画、運用ルール等まだまだ不明な点についてもっと審議、議論すべき。

～所感～

今回可決された再任用制度、その額の妥当性や、財政への影響、要員計画、仕事のあり方、制度の運用方法等々不明瞭な事項が多すぎる段階での提案であり、審議継続が本来の姿であると考え、私は反対をしました(反対者は合計4名、賛成者17名)。**制度の必要性は十分に認めますが、これらの費用は全て税金です。**

市民向けにやらなければならない課題が山積する状況下、中長期の財政見通しが明確に示されていないまま、再任用制度が可決されたことに疑問を感じます。少子高齢化の中、負担が増えてもその恩恵を受けにくくなっている時代です。税金の使い道については、より将来を見据えて慎重に決定する必要があります。

自分達の生きる時代を認識し、財政の見える化による丁寧な説明が必要であると考えます。

やるべきことが一杯！財政は大丈夫か？中長期財政見通しを数字で示し「見える化」すべき！

